

市役所新庁舎について



山口 剛一
議員

新本庁舎の整備についての市民懇談会が11月に3回開催されましたが、関心の高かった建設事業費については、残念ながら公表されませんでした。今後予定されているパブリックコメント前までにはご提示いただけるということですが、現在の計画案に至るまで努力し、積み重ねてきたコストダウンに関する事例について伺います。

また、今の進め方は市長の意向に沿った形で進められているのか伺います。

○公共施設事業調整担当部長
コストダウンの検証の主なものとして、立体駐車場を平面駐車場にすること、壁紙や床材などの仕上げ材のグレードを差別化すること、無天井化があります。そのほかにも執務室の床吹き出し空調を天井吹き出し空調とすることがあります。既存棟の改修内容の検討では、外壁の改修を全

面張りかえから全面コーティングにする。また、既存棟の耐力壁を移動しないような工夫をする等、さまざまな視点から幾つもの検討を重ねコストダウンを図っています。

○市長

新庁舎建設に関しては、何回もさまざまな機会を捉えて大勢の市民の皆様に見解を伺いながら検証し進めてきました。今後も丁寧に説明をしながら実施設計、建設工事を着実に進めてまいります。

このほか

○富士見町地下道エレベーターについて

今後の子育て支援サービスの充実に向けて



荒木 洋美
議員

現在、社会構造の変化に伴い、子育て世代の環境も変化しています。核家族化、晩婚化、女性の社会進出による共稼ぎの子育て世代の増加、ひとり親家庭も増加傾向にあり、待機児童問題の顕在化等による低年齢児からの保育ニーズが増大しています。以上のこ

とから安心して子どもを産み育てる環境の充実が求められています。「保護者への支援として求めるのは保育所におけるおむつの処分です。」仕事を終え、子どものお迎えに駆けつけ、使用済みのおむつを持ちながら夕飯の買い物に行く。0歳児で8〜10枚、ビニール袋に入れても蒸れてにおいが漏れます。衛生面からいってもいい環境ではありません。紙おむつは公立保育所で一括処分をお願いしたいと思えますがいかがでしょうか。

○こども未来部長

ご家庭の負担や衛生面に対する不安があることは理解しています。本市の一部の民間保育施設では、既に取り組みが行われていますが、おむつの取り扱いはその施設の方針により異なっているという部分もあります。今後施設で処分を行う場合の臭気対策やストックヤードの問題等もありますので、各施設長からのヒアリングなども実施していきたいと考えています。

このほか

○男女共同参画の視点から地域防災活動の取り組みについて
○予防接種に助成を

グリーン購入について



会田 幸一
議員

オリンピック・パラリンピック開催が近づきつつありますが、今回のオリンピックはパリ協定の調印等、環境対応の充実が大きく進んでいることを受け、大会組織委員会は環境に配慮した商品・サービスを意識的に選ぶ「調達コード」を策定し、社会的責任を果たしていくという取り組みを進めています。そのような中、本市のグリーン購入に関する内容や今後の取り組みへの展望を伺います。

○環境経済部長

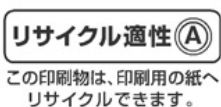
「春日部市役所が取り組む地球温暖化対策実行計画」では、グリーン購入を明確に位置づけ、これまでの取り組みを強化することを明文化しました。今後は、国による基本方針で特定調達品の中から、事務において必要なもの約100点を重点的に取り組む品目とし、順次見直しを行い、春日部市オリジナルのグリー

ン購入へと充実させていきたいと考えています。

また、市民の皆さんにも理解し共に実践していただく契機となるよう、市の方針や調達率の定期的な公表にも努めていきたいとも考えています。グリーン購入は全職員が共通して関わる環境活動であり、将来にわたる市の環境施策や地域づくりのレベルアップにも繋がっていく土台にもなることから、地道に着実に推進していこうと考えています。

このほか

○公用車の現状と課題について



環境ラベルマークの例

スズメバチ駆除費 補助金制度の創設について



栗原 信司
議員

スズメバチの巣の駆除に関しては、かつて平成23年にも一度取り上げました。地球の温暖化が進むにつれて、特にスズメバチの被害が深刻になっ

てきていることから市の対応を改めてお伺いします。

当時の答弁としては、近隣他市の状況として、駆除業者を紹介するとか、業者に委託するとか、駆除の際の費用に補助をするなど、自治体によってさまざま取り組みがされているようですが、市としては所有者や管理団体に駆除業者を紹介する方式をとっているとの答弁でした。しかし温暖化など自然環境の変化に伴い、上尾市では平成27年度から、栃木県小山市では28年から、深谷市でも本年から事業を始めました。本市としても市民の命を守るために方針を変更すべきではないでしょうか。

○環境経済部長

実効ある空家対策の促進で、 住民の不安の解消を



大野とし子
議員

ハチの巣の駆除は土地の所有者または管理者が判断し、責任を持って行うことが原則で、現状では所有者、管理者が適切に対応されているものと認識しているところです。市としては緊急性があり、市民の皆さまに危害を及ぼす恐れがあると認められる場合につきましては、市においてスズメバチの巣の駆除を実施させていただきます。

このほか
○春バス・カーシェアリング・移動手段の拡充策について

○市民協働の公園管理



スズメバチの巣の駆除 (イメージ)

春日部市は、この間の調査で、1108件の空家、そのうち特定空家等になる可能性があるものは66件あることがわかってきました。この秋の台風24号で空家周辺の皆さんが、大変不安な日々を過ごしたという事例に直面し、改めて空家対策の重要性を認識したところです。
空家は樹木や雑草の繁茂や害虫などの環境の悪化、防災防犯などの問題など多岐にわたります。空家対策は喫緊の課題と考えますが、市の認識を伺います。
また、市が作成した空家等対策計画のアンケートには、空家解体の財政的支援が必要との声が多数寄せられています。市は空家等リノベーション助成制度を考えているようですが、管理不全空家等の解体が促進されることが重要という観点から解体だけの補助も併せて創設すべきと考えま

すが、市の認識を伺います。
○都市整備部長

空家は近隣住民の生活環境に、深刻な影響を与える可能性があります。空家対策は地域の活性化など、まちづくりの視点から早急に進めるべきと考えています。また、空家は活用されて新たな価値が生まれると考えていますので、解体した敷地に建て替えをした場合の助成を検討しています。

このほか

○住民の命を守るために、庄和総合支所にも、災害対応の拠点を

春日部市内における 水害被害について



榛野 博
議員

昨年も本年も天候にとても苦しめられた記憶があります。特に雨には大変驚かされることばかりでした。春日部市は埼玉県と連携し、100ミリ安心プランの申請を行い、登録することができましたが、この市と県とで行う100ミリ安心プランの取り組みがど

のようなものか伺います。
○建設部長

100ミリ安心プランは埼玉県と本市が連携し、河川事業と下水道事業を一体的に実施することで浸水被害の軽減を図る制度で、平成27年11月に県内初でプランの登録を受けています。対象区域は1級河川新方川と会之堀川流域で、平成28年度から37年度までの10年間で浸水対策を重点的に実施していくものです。

現在、県では会之堀川の整備を終え、新方川の改修を進めており、本市では平成29年度に備後西ポンプ場の排水能力を約4倍にする増設工事を完了し、準用河川安之堀川の整備に向けて詳細設計と用地買収を進めているところです。また、プランに登録されていない区域についても、河川の流下能力を強化するための河川整備や、雨水の流出を調整するための貯留施設の設置、内水の排除が難しい地域で雨水を強制的に排水するためのポンプ場整備を行い、浸水被害軽減に向けて雨水対策に取り組んでいます。
このほか
○公共施設と道路計画について

予防接種の補助について



卯月 武彦 議員

高齢者の肺炎球菌ワクチン接種は、生涯で一度だけ補助（自己負担2500円）を受けられます。しかし、来年度からは、65歳に限定されることとなります。65歳で受けたのでは肺炎にかかるリスクの高い高齢になったときに効力がなくなってしまう。65歳にせず、いつでも受けられるようにすべきではないでしょうか。また、全額補助すべきではないでしょうか。

風疹の流行が大きな問題となつています。風疹ワクチンの予防接種について、市の対応を伺います。また、すべての人を対象に無料で行うべきではないでしょうか。

健康保険部長
高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種については、国の県の動向を見きわめ変化があった場合には適切に対応してまいります。なお、費用については希望者のみが接種するもの

であるため一部助成としていきます。

風疹の予防接種について、本市では妊娠を希望する夫婦を対象とした助成制度の準備を進めています。この助成制度は、胎児に及ぼす悪い影響を防ぐことを目的に、妊娠を希望する夫婦を対象とし、過去に接種する機会があった人を救うためのものであるため一部助成としています。

このほか

- 生活保護制度について
- 住宅リフォーム助成制度と空家等リノベーション助成制度（仮称）について

春日部市は何故、北朝鮮による拉致問題を軽視するののか



井上 英治 議員

私は過去、平成24年12月議会にて人権施策推進指針について、29年3月議会にて総合振興計画について、拉致問題が人権項目の中に記載されていないことを指摘し、記載されるようになりましたが、今回、「春日部市の教育」の中にも記載漏れがあることを発見し

ました。教育委員会は人権指針も総振も修正されたことを無視し、拉致問題を軽視するののか、人権感覚について伺います。また、来年から「春日部市の教育」には記載するのか、併せて学校教育、人権の集い等での拉致問題の取組状況についても伺います。

社会教育部長
拉致問題は重大な人権侵害事案と認識しています。被害者、ご家族の皆様を苦しめる共有し一刻も早く帰国できるように、理解と認識を深めていくことが重要と考えています。

「春日部市の教育」については、人権を尊重するまちづくりを推進していく姿勢が明確になるよう、総合振興計画の表現との整合を図っていきたいと考えています。

市内小中学校では昨年度、校内の人権研修で6校、児童生徒への指導で4校が拉致問題を取り上げています。

総務部長
様々な取り組みを継続し、北朝鮮拉致問題を含めたあらゆる人権問題の解消に向けた意識の高揚を図っています。

このほか

- 春日部市立図書館の雑誌の在り方について

前進させよう！
春日部の都市計画



岩谷 一弘 議員

春日部市の未来を前進させるために、極めて重要な、新たな住居系・産業系の都市開発の基本的な計画と考え方はどうなるものなのか。また、北春日部の開発、多世代が暮らせる開発について質問します。

都市整備部長
新たな都市計画マスタープランや立地適正化計画では、駅を中心に歩いて暮らせるまちづくりを行い、拡散型から集約型の都市構造への転換を図っています。駅周辺には生活利便施設を立地誘導し、その周辺には居住誘導を図り、公共交通でアクセスできる、いわゆる多極ネットワーク型コンパクトシティの構築を目指すこととしています。

一方で、物流や工場などの産業系の土地利用は、インター周辺や幹線道路周辺の産業団地に誘導、集約していくことが本市の都市計画の考え方

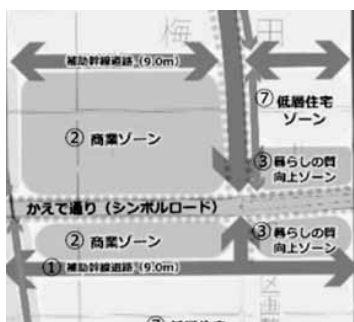
です。

北春日部駅周辺地区の開発は、地権者で構成する組合による土地区画整理事業を実施し、事業区域面積約40・5ヘクタールを整備し、新たなまちをつくり出していきます。

地区内には約3000人が居住する、約1000戸の低層住宅を展開し、交通の利便性と豊かな自然環境を生かして、1区画が大きく、多世代が住み続けられるゆとりのある住宅地を形成していきます。

このほか

- 活かそう！かずかべ未来研究所



北春日部駅周辺地区の開発 (イメージ)

死亡手続きの窓口 ワンストップについて



武 幹也
議員

市内の高齢者世帯が増加し、一人暮らしの高齢者も増えてきています。毎月訃報にも絶え間なく接する昨今です。中でも相続を初めとする広範にわたる諸手続きは、予想以上に高齢者にとって困難をきわめます。本市では、市民課において「お悔やみの手続き一覧表」を手に、精神的に疲弊したご遺族が対象となる各窓口で記入ミスや記入漏れがないように平均6〜8回、申請しているのが現状です。新庁舎においては、別府市で実施している「おくやみコーナー」と同様な取り組みをぜひ実施できないか伺います。

○市民生活部長

別府市のおくやみコーナーですが、死亡届提出後の手続きについて、必要な課所への案内と関係書類の作成を補助していると聞いており、必ずしも全てワンストップで手続きが完了するものではないよ

うです。

新本庁舎においては、春日部市本庁舎整備基本構想の中で、人に優しい庁舎を基本方針の一つとし、誰もが利用しやすい、わかりやすく機能的な庁舎として基本設計を行っていますので、おくやみコーナーを設置しなくても、死亡時の手続きにおけるご遺族等の負担軽減を図ることは可能であると認識しています。

このほか

○(仮)財政健全化条例について
○まちづくりとマンホールについて



いろいろな死亡手続きに悩む市民 (イメージ)

子どもたちの 登下校について



石川 友和
議員

通学路によっては、車の通りはなくて安全であっても、人通りが少なく、不審者に襲われてしまうような危険と思われる場所を通って帰らざるを得ない状況もあるかと思えます。通学路は、子どもたちが交通事故に遭わないような安全な道を選択されているかと思えますが、不審者対策に関しては、まだ不十分だと私は思います。

このような危険と思われる箇所を市はどのように把握している、どのような対策を講じているのか伺います。

また、登下校時の名札の着用についての現状と市としての考えを伺います。

○学務指導担当部長

国が策定した登下校防犯プランの趣旨を踏まえ、教育委員会学務課が中心となり、春日部警察署、各小学校、さらには市の関係部署が連携して通学路の合同点検を実施し、

危険箇所の状況把握と今後の対策を検討しています。

登下校時に名札を着用させていない学校は、小学校24校中20校です。

子どもたちをとりまく社会の変化に伴い、学校の対応も変化しており、これまでも検討課題としてきましたが、子どもたちの安心安全を第一に考え、防犯対策の一つとして今後、登下校時は名札の着用をしない方向で検討していきます。

このほか

○小中学校のネットいじめについて

政務活動費 収支報告書及び 領収書等の公開

政務活動費は、地方議会議員の調査・研究・その他の活動に資するために交付されています。

政務活動費の収支報告書及び領収書等を市議会ホームページで公開していますので、ご覧ください。

なお、政務活動費の収支報告書については、議会事務局のほか、市役所本庁舎及び庄和総合支所の市政情報室でも閲覧できますので、お問い合わせください。

傍聴して一言

施設の老朽化は春日部市外の方から見ると汚い、整備が行き届いていないと悪いイメージにつながると思います。市民としては残念に感じます。

女性・54歳

質問に対して回答に具体性がない。回答に対して基本的なことがもれているようである。全体的にもう少し詳細な数字で示すと納得性がある。

男性・78歳

議会の内容、一問一答は市民として知っているべきと思いい、楽しいものでした。来れば来たでよかったと思える内容でした。

男性・76歳

空家対策はよくわかりましたが、廃墟に対する対策も急務だと思えます。廃墟は防犯や近隣の不動産価値が低下します。また、その周辺で発展はありません。

男性・64歳

※割愛させていただいた部分もあります。

常任委員会行政視察

(◎委員長 ○副委員長)



総務委員会 (金沢市)
◎鈴木 一利 ○海老原光男 卯月 武彦
佐藤 進 荒木 洋美 会田 幸一
山崎 寛美



厚生福祉委員会 (富山市)
◎水沼日出夫 ○山回 剛一 並木 敏恵
鬼丸 裕史 滝澤 英明 永田 飛鳳
栗原 信司 中川 英朗



建設委員会 (東大阪市)
◎木村 圭一 ○尾 安徳
坂巻 勝則 金谷 進一
河井 美久 岩谷 一弘
井上 古沢 英治 耕作



教育環境委員会 (盛岡市)
◎石川 友和 ○吉田 稔
榛野 博 大野 とし子
小久保博史 武 幹也
酒谷 和秀
松本 浩一

閉会中の委員会活動

- ▽総務委員会
10月17日～19日
・行政視察
岐阜市(多文化共生推進計画について)
大垣市(ICT戦略ビジョン及び大垣市情報工房について)
- ▽厚生福祉委員会
10月15日～17日
・行政視察
上田市(健康都市の実現に向けた取り組みについて)
富山市(富山市まちなか総合ケアセンターについて(産後ケア事業・お迎え型病児保育事業等))
金沢市(金沢市地域福祉計画について)
- ▽建設委員会
10月23日～25日
・行政視察
東大阪市(総合雨水対策アクションプランについて)
豊橋市(豊橋市空家等対策計画について)
沼津市(沼津駅周辺総合整備事業について)
- ▽教育環境委員会
10月16日～18日
・行政視察
盛岡市(いわぎんスタジアムについて)
多賀城市(多賀城市立図書館について)
白河市(白河ブランド(白河市農産物ブランド)について)
- ▽議会運営委員会
11月5日～11月7日
・行政視察
敦賀市(議会改革の取組及び議会運営について)
小浜市(議会改革の取組及び議会運営について)
舞鶴市(舞鶴市議会活動基本計画について)
- 11月20日
・平成30年12月定例会の運営について
- ▽全員協議会
12月13日
・春日部市本庁舎整備基本計画の策定について
- ▽広報広聴委員会
12月21日
・議会報告会の検証について
・議会だより第54号について
1月7日
・議会だより第54号について

次の定例会は 2月18日(月) 開会予定です

本会議の傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の傍聴者受付で、住所及び氏名をご記入の上、傍聴券を受け取り、傍聴席に入場してください。

傍聴席は56席(車イス傍聴席2席含む)です。

本会議は、通常午前10時から開催します。

合計	今定例会傍聴状況									
	14	12	11	7	5	12/4	30	28	11/26	月日
190	8	45	16	43	11	35	14	15	3	傍聴者数
	討論・採決	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	委員会	質疑	上程・説明	主な日程

**議会報告会を
開催しました**

市議会では開かれた議会を目指し、議会報告会を開催しています。今回は10月28日(日)に市役所2階の議場において開催し、前半は9月定例会の決算議案を中心に報告を行い、後半は各委員会室等で4つのグループに分かれて、皆さまからご意見などを伺う意見広聴会を行いました。

お忙しい中、ご来場いただきました皆さまには、貴重なご意見等をいただきましたまして、誠にありがとうございます。また、

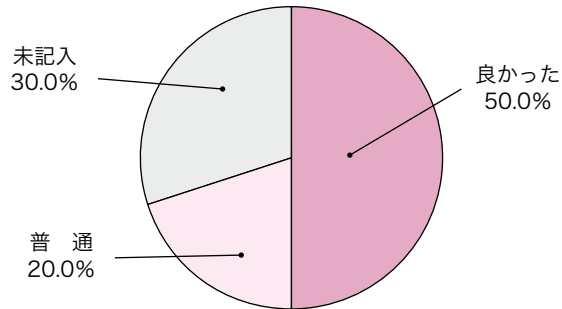
なお、市議会ホームページでは、当日配布しました資料やアンケートの集計結果などを掲載していきますのでご覧ください。

春日部市議会

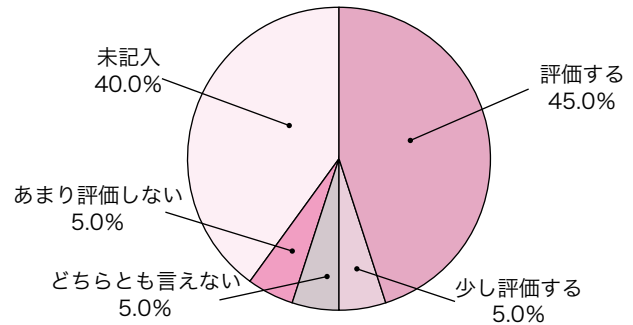
検索

議会報告会アンケート集計結果（一部抜粋）

議場で議会報告会を開催したことへの評価



グループに分かれた意見広聴会を開催したことへの評価



他議会からの視察受入状況（平成30年度）

No.	来庁日	来庁議会	視察内容
1	平成30年 5月 8日	山口県岩国市議会	官学連携団地活性化推進事業について
2	平成30年 5月 22日	京都府城陽市議会	自治体シンクタンク（かすかべ未来研究所）について
3	平成30年 7月 4日	広島県福山市議会	川の駅整備事業について
4	平成30年 7月 6日	北海道旭川市議会	「春日部市民の日」制定について
5	平成30年 7月 25日	愛知県岡崎市議会	かすかべ未来研究所について
6	平成30年 7月 25日	長野県上田市議会	企業誘致について
7	平成30年 10月 10日	愛知県瀬戸市議会	市民協働について
8	平成30年 10月 16日	京都府京丹後市議会	春日部市豊野環境衛生センター・汚泥再生処理センターについて
9	平成30年 10月 23日	佐賀県小城市議会	かすかべ未来研究所について
10	平成30年 10月 26日	京都府八幡市議会	小中一貫教育の取り組みについて
11	平成30年 11月 2日	鳥取県米子市議会	認知症初期集中支援チームの取り組みについて
12	平成30年 11月 8日	兵庫県加西市議会	春日部市シティセールス戦略プランについて
13	平成30年 11月 13日	大阪府河内長野市議会	春日部市立小・中学校普通教室等エアコン整備PFI事業について

今年度も多くの市議会が本市の特色ある事業等を視察に来ています。

編集後記

春の訪れが待ち遠しい季節、市民の皆さまにおかれましては、健やかに過ごして下さることを祈ります。

この度、市政や市議会に関心をお持ちいただくため、冊子「市議会へのご案内」を作成いたしましたので、そちらもご覧いただければ幸いです。さて、「平成」も残りわずかとなりました。時代の転換期に市政に携わることの責任の重さを自覚し、議員一同、懸命に取り組んでまいります。

広報広聴委員会

- 委員長 古沢 耕作
- 副委員長 坂巻 勝則
- 委員 榛野 博
- 委員 石川 友和
- 委員 今尾 安徳
- 委員 吉田 稔
- 委員 鈴木 一利
- 委員 武 幹也

オブザーバー

- 議長 鬼丸 裕史
- 副議長 荒木 洋美

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111 (代表)

内線3116

再生紙を使用しています。